

京都工芸繊維大学生協 虹の旗



取り組み概要

発行ペース：年に4回
配布場所：食堂など
参加者数や組合員の反応：SNS上では、デザインに関する反応や読んでみた感想が見られた。

概要：学生委員会が作成する、年に4回刊行される機関誌。旬の話題を載せる特集ページや学内インタビュー、地域のお店の取材や生協インフォメーションなど、組合員に届けたい情報がたくさん掲載されている。

組合員に寄り添い、
大学内外を繋ぐ機関誌

POINT.1

ニーズを捉えた記事作り



虹の旗には、その季節や流行に合わせた内容が載っています。例えば、春号では入学したばかりの新入生にむけて京都の季節ごとの行事や場所紹介、秋号ではスポーツの秋にちなんでモルックの紹介がされていました。組合員がちょっと気になること・知りたいことに寄り添った記事作りができていました。

また、学生委員会の活動報告や、資格試験や教習所の案内など大学生協の情報も載せており、機関誌を手にとった人に大学生協の活動を知らせることに繋がっていました。

POINT.2

組合員を巻き込みながら作る

虹の旗には、京都工芸繊維大学に通う話題の学生を紹介するページや、教員の研究や専門を紹介するページ、学内のサークルを紹介するページが盛り込まれています。これらは全て綿密な取材を元に書かれたものです。こうした地道な取材により、普段は全く関わりがない人や団体を知るきっかけを作り出していました！！

また、京都工芸繊維大学近辺のお店に取材することで、地域との繋がりが作りもできていました！

POINT.3

多くの組合員に読んでもらう工夫



虹の旗の魅力のひとつに、洗練されたデザインがあります。思わず手に取ってしまいそうなほど、表紙はどれも可愛く、SNS上でも話題になっていました。

冊子の作成は、広報局員で何度も推敲や修正を重ね、写真やイラスト、レイアウトや文字フォントまで気を配っています。その結果、視覚的に楽しく機関誌を読んでもらうことができていました。

組合員が読みたくなるような情報をSNS上でチラ見せした宣伝も行っており、SNSを使って効果的に宣伝できている点も素敵でした！

